

# 半田市都市計画マスタープラン

# 目 次

## I 計画の概要

- 1 計画策定の背景と目的…………… 1
- 2 計画の範囲…………… 1
- 3 目標年次…………… 1
- 4 計画の位置づけ…………… 2

## II 半田市の現況と都市づくりの基本的な課題

- 1 半田市の現況…………… 5
  - 1-1 市の概要…………… 5
  - 1-2 人口・世帯…………… 7
  - 1-3 地域経済…………… 15
  - 1-4 都市づくりの現況…………… 18
- 2 市民アンケート調査…………… 22
- 3 前計画の取組状況…………… 25
- 4 都市づくりの基本的課題…………… 26

## III 全体構想

- 1 都市づくりの基本理念…………… 29
- 2 都市づくりの目標…………… 29
- 3 将来都市フレーム…………… 31
- 4 将来都市構造…………… 32
- 5 分野別方針…………… 35
  - 5-1 土地利用…………… 35
  - 5-2 都市交通…………… 38
  - 5-3 港湾…………… 41
  - 5-4 公園・緑地…………… 41
  - 5-5 河川・ため池…………… 42
  - 5-6 下水道…………… 42
  - 5-7 景観形成…………… 43
  - 5-8 都市防災…………… 44
  - 5-9 防犯…………… 45
  - 5-10 都市環境…………… 45
  - 5-11 その他の都市施設…………… 45

## IV 地域別構想

1	地域別構想の位置づけ	46
2	地域区分の設定	46
3	地域別の都市づくりの方針	47
	中心市街地	47
	亀崎地域	52
	乙川地域	57
	半田地域	62
	成岩地域	68
	青山地域	73

## V 都市づくりの進め方

1	都市づくりの進め方	78
2	進行管理	80

## VI 参考資料

1	計画の策定体制	82
2	策定（改定）経過	83
3	策定（改定）委員会、策定（改定）部会及び作業部会	84
4	地域まちづくりワークショップ・ヒアリングの経緯	92
5	パブリックコメント	93
6	半田市都市計画マスタープランの変遷	94
7	用語解説	96



# はじめに

---



令和という時代に入り、私たちは人口構造の変化に加え、デジタル化の急速な進展、カーボンニュートラルへの世界的な要請、そして新型コロナウイルス感染症がもたらした生活様式の変容など、目まぐるしい社会環境の変化の中にいます。こうした変化は、私たちの暮らしや経済活動に大きな影響を与え、持続可能な都市経営のあり方が改めて問われています。

このような状況を踏まえ、本市では、令和3年策定の都市計画マスタープランに基づき進めてきたまちづくりを、中間評価の観点から見直しを行いました。

今回の改定では、引き続き「活気に満ちあふれた、暮らし続けたい都市・はんだ」を基本理念とし、改定後の計画も令和12年度（2030年度）を目標としています。市民一人ひとりの満足度の向上を目指してまいります。

具体的には、連続立体交差事業を契機とした中心市街地の活性化においては、賑わいの創出に加え、誰もが歩いて楽しめる「ウォーカブル」な空間づくりを進めます。また、鉄道駅を中心とした拠点機能の強化と、バスネットワークをはじめとする多様な移動手段の確保により、市民生活の利便性向上を図ります。産業振興においては、本市の強みであるものづくり産業の基盤強化に加え、新たな企業誘致や産業育成にも力を入れてまいります。そして、半田運河周辺の蔵のある風景や豊かな自然環境など、先人たちが築き上げてきた貴重な地域資源を次世代に継承し、活用してまいります。

結びに、本計画の見直しにあたり、市民アンケートやパブリックコメントなどを通じて、多くの市民の皆様から熱心なご意見、ご提言を賜りました。また、策定委員会の委員各位をはじめ、関係各位には多大なるご尽力をいただきました。ここに記して、心より深く感謝申し上げます。

令和8年（2026年）3月

半田市長 久世寿宏

